

# お口の健康と全身の健康を

## 医療費の面から検討する

6月4～10日

「歯と口の健康週間」

6月4日から10日まで  
は「歯と口の健康週間」  
です。

近年、お口の病気が全身の病気に大きく関係していることが知られてき

かっています。

医療費の面からも、お口の健康と全身の健康が深く関係していることが分

かっています。

また、さまざまな大学や機関の研究で、

表1は、お口の中の歯の本数（残存歯数）と、年間医療費の関係を表しています。残存歯数が多くなるに従って、年間医療費が下がることが分かります。残存歯が4本以下の方は、残存歯20本以上の方に比べ、年間で19万円医療費が多くなっています。

また、歯と全身の健康の正しい因果関係は分かりませんが、歯のそろっている人は医療費は少なく、元気なようです。

表2は、歯科健診頻度

と年間医療診療費の関係を表しています。定期的に歯科健診を受けている人ほど、受けていない人に比べ年間医療費が少なくなることも分かります。健診で歯茎や虫歯のチェックだけでなく、歯磨きの確認や歯垢・歯石の除去などを行い、歯周病の進行予防や、虫歯の予防を行っていることが、全身の健康につながっているのではないのでしょうか。

歯を失う原因は、高齢になるにつれ歯周病が原因になる率が増加しますが、歯周病は、加齢に伴い必ず発症、悪化する病気ではありませんし、毎日のブラッシング、定期的な歯垢や歯石の除去で発生を予防したり、悪化を防ぐことができる病気です。「年だから」「まだ若いから」と言わずに、かかりつけの歯科医院をつくり、健康的な生活を送ることができるようにしましょう。

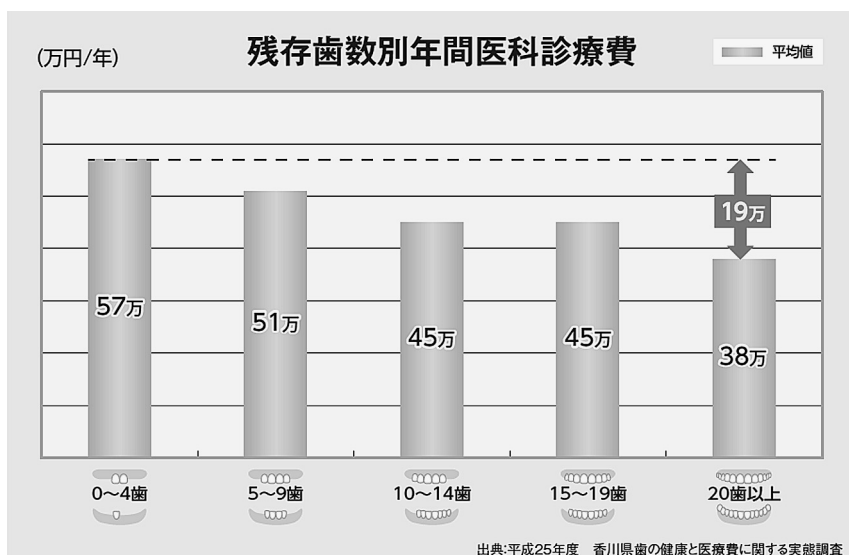


表1

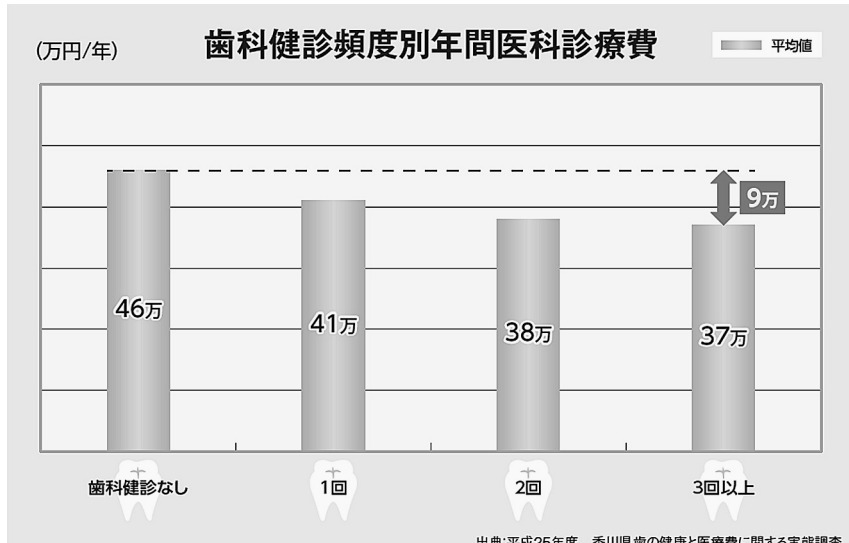


表2

(香川県歯科医師会)